

世界最高水準の精密さと安全な技工物が提供できる私たち。
しかし、それが活かさない現実。

We are
Dental technician



保険技工物の製作料金の異常な安さ。さらなるダンピング

薄利多売にならざるを得ず、これでは一つ一つに十分な時間が掛けられません。
さらに追い討ちをかける海外技工物導入の逆風…

国内資格を持たない無資格者技工、正規の材料を使用しているのか確かめようもありません。

そこまでして保険の医療費を削減する必要があるのでしょうか？

患者さんは、それを望んでいるのでしょうか？

それを知っているのでしょうか？

それを自分のそして家族の体内に入れて不安ではありませんか？

続々と去ってゆく仲間たち。国内歯科技工はまさに風前のともしび。

12時間を超えての実働時間でも一向に増えない収入。

18時間に及ぶ例も珍しくはなく長時間低賃金労働の実態は労働基準法の蚊帳の外。

新卒者の離職率は1年で1割を超え、7年後には7割を超える実態…

若い人も育たず日本の歯科技工は将来に継承できるのでしょうか？

それでも私たちはこの仕事にこだわり続けています。

なぜでしょう。

人々の健康を支える「**スペシャリストとしての誇り**」を持っているからです。

**我々歯科技工士は歯科医療に携わるスペシャリストとして
正当な評価そして正当な発言権を持ちたいと願っています。**